

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名		第2期文化のまちづくり基本計画策定事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市文化のまちづくり条例	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業期間	開始	平成 29 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期	未定
(小項目)		文化振興				
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進				
基本事業	1	「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」の策定				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民、市内で文化芸術活動をしている団体・個人						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	平成19年4月に施行した「鳴門市文化のまちづくり条例」に基づき、本市の文化芸術の振興を計画的に推進するため、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定する。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	審議会を開催し、第1期鳴門市文化のまちづくり基本計画実績報告を行うとともに、第2期基本計画策定にむけた方針やアンケート調査内容等について審議委員から意見を聴取する。 文化施設の耐震構工法の比較検討方法について検討する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		第2期基本計画策定				策定		

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	基本計画では、文化芸術活動に取り組む市民が活動の成果を発表したり、芸術文化を鑑賞する場となる文化施設の活用や充実に向けた施策等を示す必要がある。また、市の公共施設については平成29年3月に「鳴門市公共施設等総合管理計画」が策定され、文化施設である鳴門市文化会館については、施設の更新も含めた検討を行う必要があると示された。このことから、施設を更新する場合の影響等について、市外施設状況等を調査するとともに、低額で安全を確保できる耐震改修手段について調査研究した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 審議会開催	0	1	1	5	-	回
	2 パブリックコメント実施	-	-	-	実施	-	実施
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	第2期基本計画策定	-	-	-	策定	-	
	目標達成率(実績/目標)	0.0		-	-	-	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	0	100	100
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	100	100
		決算額	0	0	0	0	70	70
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		0.1	0.0		732		802	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：第2期文化のまちづくり基本計画策定事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	0	70	75	未定	未定
	うち一般財源	0	70	75	未定	未定
	人件費	723	732	732	未定	未定
	総事業費	723	802	807	未定	未定

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		従来の耐震工法より安価で耐震補強できる工法について調査した。
	効率性	B:概ね効率的だった		正規職員1名が主担当となって、活動をおこなった。
②成果に対する評価	指標名	第2期基本計画策定		「文化のまちづくり審議会」を開催し、第1期計画の実績報告を行い、第2期基本計画策定にむけた方針等について審議を行った。
	目標	策定	0	
	実績	-	0	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		<b>B</b>		R2年度の計画策定に向けて、おおむね計画どおり事業をすすめることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	文化のまちづくり基本計画を策定するにあたっては、文化活動の拠点となる文化施設の更新等について、公共施設等総合管理計画との整合性をふまえつつ、長期的視点にたった個別施設計画を策定した上で、文化施設の活用及び充実に関する方向性を明確にしていく必要がある。このため、個別施設計画をまず策定することとし、文化施設の更新等のビジョンを示した上で本計画の策定に着手する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>2</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	市民の文化活動の状況やニーズ等を把握するため、市民を対象としたアンケート調査、及び市内文化活動団体等へのヒアリング調査を実施し、審議会にて調査結果報告を行う。また、文化施設の中・長期的な整備方針を明らかにするため、庁内会議等を開催し個別施設計画の策定をすすめる。			
	R2年度	市民や市内文化芸術活動団体等の意見・要望等を集約をし、審議会開催、パブリックコメントを実施し、「第2期鳴門市文化のまちづくり基本計画」を策定する。			